

2024 年度 札幌大谷大学
社会学部地域社会学科
一般選抜 I 期

日本史 B

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は 8 ページあります。
- 3 試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。

I 次の文を読んで、下の問に答えなさい。

(ア)には既に大きな墳丘を持つ墓がいくつか存在していたが、3世紀後半になると、前方後円墳などの大規模な古墳が西日本を中心に現れた。これらの古墳には長い木棺や多くの銅鏡などが埋葬され、共通の墓制が存在したことから、広域の政治連合が形成されたと考えられている。特に①大和地方を中心とする政治連合はヤマト政権と呼ばれた。古墳は4世紀中ごろまでに東北地方にも広がり、ヤマト政権の支配が拡大したことを示している。

古墳にはさまざまな形状があり、円墳や方墳などが存在した。大規模な古墳は前方後円墳で、墳丘には埴輪が配置され、墳丘の斜面には葺石が使われた。埴輪や副葬品としては、(イ)や碧玉製の腕輪、鉄製の武器や農具などが多く見られ、古墳の被葬者たちは宗教的な役割も果たしていたことが示唆される。

最大の古墳は大阪府の(ウ)で、前方後円形の墳丘が長さ456メートルあり、非常に大きな墓域を持っている。これと同様の大きさを持つ古墳も存在し、これらは5世紀のヤマト政権の盟主、大王の墓と考えられている。中期の前方後円墳は近畿中央部だけでなく、他の地域にも見られ、地方豪族の力が強まっていたことを示している。

中国では三国時代の後、南北分裂時代が始まり、周辺の諸民族も国家形成を進めた。中国から高句麗が朝鮮半島北部に勢力を広げ、朝鮮半島南部では百済と新羅が成立した。高句麗との争いに巻き込まれた倭も騎馬技術を学び、古墳に馬具が副葬されるようになった。また、渡来人がさまざまな技術や文化を伝えた。ヤマト政権は中国の南朝に朝貢し、外交的な立場を有利にした。

ヤマト政権は朝鮮半島や中国との交渉を通じて、鉄器や須恵器の製作技術、(エ)の使用、(オ)や仏教、学術などを受け入れた。渡来人たちは技術者集団に組織され、(エ)を使って記録や文書を作成した。(オ)や学術も広まり、②『古事記』と『日本書紀』のもとになった歴史書がまとめられた。

6世紀の古墳時代後期には、古墳の形態にも変化が見られた。(カ)が一般的になり、多くの土器が副葬されるようになった。墓室を山や斜面に掘り込む横穴も増えた。埴輪も多様な形状が使われ、古墳のまわりには彩色された壁画も見られた。

5世紀から6世紀にかけて、大王を中心としたヤマト政権は、関東地方から九州北部におよぶ地方豪族を含み込んだ支配体制を形成していった。③地方豪族は氏姓制度に組織され、大王から姓を授かった。中央政府は大臣や伴造などを任命し、各地の支配を拡大した。④地方豪族の抵抗もあったが、ヤマト政権は地方豪族を従属させ、直轄領や直轄民を設けて支配を強化した。

問1 空所（ア）～（カ）に当てはまる語句を、下のa～lから選び記号で答えなさい。

- a.漢字 b.大仙陵古墳 c.横穴式石室 d.竪穴式石室 e.旧石器時代
f.三角縁神獣鏡 g.弥生時代 h.粘土槨 i.雪野山古墳 j.儒教 k.土師器
l.道教

問2 下線部①のヤマト政権について、次のア～オの中で間違っているのはどれか、一つ選び記号で答えなさい。

- ア. ヤマト政権は古代日本において中央集権的な統治体制を確立した。
イ. ヤマト政権は奈良時代に成立し、平安時代にはさらに強化された。
ウ. ヤマト政権は中国や朝鮮半島との外交交流を重視し、文化的影響を受けた。
エ. ヤマト政権は宗教面でも重要な役割を果たし、神道が発展した。
オ. ヤマト政権は農耕社会を基盤とし、農業生産を奨励した。

問3 下線部②について、この歴史書は何か、次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア.史記 イ.帝紀 ウ.春秋左氏伝 エ.戦国策 オ.旧辞

問4 下線部③について、氏姓制度に関する説明文として正しいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 氏は地域によって決まり、姓は特定の氏族に由来する。
イ. 氏は身分によって決まり、姓は地域によって決まる。
ウ. 氏は特定の氏族に由来し、姓は個人の名前に含まれる。
エ. 氏は個人の名前に含まれ、姓は身分を示す。
オ. 氏は身分によって決まり、姓は特定の氏族に由来する。

問5 下線部④について、大王権力に対して新羅と結んで筑紫国造が起こした反乱を何と言うか。正しいものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア.欣明天皇の乱 イ.中臣鎌足の乱 ウ.大化の改新
エ.長屋王の乱 オ.磐井の乱

Ⅱ 次の文を読んで、下の問に答えなさい。

鎌倉幕府の成立は、源平の争乱に端を発している。平清盛が後白河法皇を幽閉し、安徳天皇を即位させたことで、平氏の専制政治に反発が生まれた。(ア)と以仁王が平氏打倒の兵を挙げ、武士や僧兵もこれに応じて、5年間にわたる①治承・寿永の乱が続いた。

平氏は一時的に都を移したが、後に京都に戻した。しかし、飢饉や平清盛の死により平氏の基盤は弱体化し、安徳天皇を奉じて西国に逃れたが、最終的に(イ)で滅亡した。この内乱は地方の武士団の動きを活発化させ、彼らは新しい政治体制を模索していった。

反平氏の勢力のうち、頼朝を中心にした東国の武士団が集結し、有力な勢力として成長した。頼朝は鎌倉を拠点とし、関東の土地を支配し、御家人の支配権を保障した。1183年に後白河法皇との交渉を経て、頼朝の支配は西国にも広がり、武家政権としての鎌倉幕府が確立した。

②鎌倉幕府の組織は簡潔かつ実用的で、守護や地頭が地方で活動し、幕府は(ウ)によって成立していた。幕府は朝廷を支援し、全国の治安を維持したが、幕府が東国はもとより、他の地方でも支配の実権を握ろうとしたために、しだいに守護・地頭と国司、荘園領主の間で紛争が生じるようになった。

頼朝の死後、御家人を中心とした政治を求める動きが強まり、主導権をめぐる争いが続いたが、その中で北条氏が台頭した。北条氏は、将軍の頼家を廃して幕府の実権を握った。

(エ)では朝廷との対立が激化したが、幕府が勝利したことで、③3代執権北条泰時の指導のもとで発展期をむかえた。1232年には御成敗式目を制定して、広く御家人たちに示した。

鎌倉時代には蒙古襲来があり、幕府は異国警固番役を強化し、西国一帯に幕府勢力を広げていった。北条氏の権力が拡大する中で、得宗の支配が強まっていった。

蒙古襲来により御家人たちが多くの犠牲を払ったが、幕府は恩賞を十分に与えることができず、御家人の信頼を失った。また、分割相続と貨幣経済の発展により、御家人の所領が細分化し、窮乏が広がった。幕府は1297年に(オ)を発布し、御家人の所領の質入れや売却を禁止し、一部領地を取り戻したが、効果は限定的だった。

一方で、経済情勢の変化を利用し、一部武士は勢力を拡大した。畿内や周辺地域では、新興武士たちが武力で年貢の納入を拒否し、荘園領主に対抗する動きを見せた。これらの武士は(カ)と呼ばれ、その影響は広がっていった。このような動揺を鎮めるため、北条得宗は専制政治を強化したが、ますます御家人の不満をつのらせ、結果として、幕府の支配は危機にさらされることになった。

問1 空所（ア）～（カ）に当てはまる語句を、下の a～l から選び記号で答えなさい。

- a.封建制度 b.大宰府 c.源頼政 d.悪党 e.後鳥羽上皇
f.南北朝の動乱 g.永仁の徳政令 h.長門の壇の浦 i.院分国の制度
j.承久の乱 k.御成敗式目 l.一向宗

問2 下線部①の治承・寿永の乱について、正しい記述はどれか。ア～オから一つ選び記号で答えなさい。

- ア. 治承の乱は、平治の乱とも呼ばれ、1159年に起きた。源平合戦の初めての戦闘であり、源義仲と平清盛の対立が原因だった。
イ. 寿永の乱は、治承の乱の続編として1160年に勃発し、平清盛の孫である平宗盛と源義経の戦闘が焦点となった。
ウ. 治承の乱と寿永の乱は、共に源平合戦の一部であり、治承は1156年に、寿永は1180年に起きた戦闘である。治承は源義朝の暗殺をきっかけに、寿永は源義経の挙兵によって勃発した。
エ. 治承・寿永の乱は、平安時代末期ではなく、鎌倉時代初期に起きた武士たちの争いであり、治承は1180年、寿永は1183年に発生し、源頼朝と平家一門の対立が原因だった。
オ. 治承・寿永の乱は、鎌倉時代の終わりに発生し、源義経と平家一門との戦いだった。治承は1180年に始まり、寿永は1184年に終結した。

問3 下線部②について、鎌倉幕府の支配機構を示した次表のアとイに当てはまる語句を答えなさい。

名称	役割
ア	御家人を組織し統制する。
政所	一般政務や財政事務をつかさどる。
イ	裁判事務を担当する。

問4 下線部③について、北条泰時が設置し、執権や連署とともに政務・裁判の合議や議決を行った機関を何というか、次のア～オから正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。
ア.評定衆 イ.供御人 ウ.会合衆 エ.国役 オ.兵の家

Ⅲ 次の文と略年表を読んで、下の問に答えなさい。

1853年、アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーが、4隻の軍艦を率いて浦賀沖に現れ、幕府に開国を迫った。幕府は、翌年の返事を約束してペリーを引き取らせた。翌年、幕府は再びやってきたペリーと(A)を結び、①下田・箱館の2港を開いた。

1856年、下田に来たアメリカ総領事ハリスは、貿易開始のための条約を結ぶことを要求したため、1858年には(B)が結ばれ、箱館・神奈川・長崎・新潟・兵庫の5港が貿易のために開かれた。

1862年、陸奥国会津藩の藩主である松平容保は、政事総裁職の(1)や将軍後見職の一橋慶喜の要請を受け、京都守護職に就任する。②この人事・職制等の改革は、開国によって混乱していた政治情勢を收拾するために行われたが、会津藩は諸外国との条約調印に踏み切った幕府と、開国に異論を唱えていた孝明天皇との間に立たされ、次々と政争に巻き込まれていく。京都には③尊王攘夷派の志士が集結し、急進派の(2)が朝廷内で発言力を強めていった。早くから尊王攘夷を唱えていた長州藩も朝廷に対して影響力を持つようになり、下関海峡を航海する外国船に砲撃を加えた。長州藩は会津藩や薩摩藩を中心とした公武合体派によって八月十八日の政変で京都から追放されたものの、④池田屋事件をきっかけに再び京都に出兵した。このとき幕府側の長州征討の主力として御所守備軍を指揮したのが一橋慶喜であった。慶喜は、松平容保、松平定敬とともに一会桑体制という急進的な尊王攘夷派や長州藩に対抗する勢力を築いていった。

1866年には第2次長州征討が発令されたが、坂本龍馬や中岡慎太郎らの斡旋で薩長同盟を結んでいた薩摩が挙兵せず、第14代将軍(3)の急死によって戦闘が中止となった。第15代将軍には徳川慶喜が就任したが、その直後に孝明天皇が崩御した。慶喜は、フランス公使ロッシュの助言を受けて改革に向けて歩み始めたが、土佐藩による大政奉還の建白に同意し、1867年10月14日に大政奉還が上表された。同日、公家の(4)から薩摩藩と長州藩に討幕の密勅が渡され、1868年に将軍職辞職の勅許を含む王政復古の大号令を出して、天皇を中心とする新しい政権を樹立した。さらに⑤小御所会議において、官職や領地も天皇に返還させることを決議した。

幕末の動き (月は陰暦)	
1853. 6	ペリー来航
1858. 9	安政の大獄(～59年)
1860. 3	桜田門外の変
1863. 5 . 7	長州藩, 外国船砲撃 薩英戦争
1864. 7	長州征伐
1865. 4	長州再征発令
1866. 1 . 6	薩長連合 第2次長州再征(～8月)
1867. 10 . 12	大政奉還, 討幕の密勅 王政復古の大号令

問1 (A) ～ (B) に当てはまる条約名を答えなさい。

問2 本文中の空欄 (1) ～ (4) に最も当てはまる人物を、下のア～クの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 三条実美 イ. 勝海舟 ウ. 徳川家茂 エ. 阿部正弘
オ. 堀田正睦 カ. 岩倉具視 キ. 松平慶永 ク. 井伊直弼

問3 下線部①について、下田・箱館は現在の都道府県でいうと、それぞれどこにあるか答えなさい。

問4 下線部②の改革を何というか。また、その改革を主導したのは誰か、下のア～カの語群から一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 安藤信正 イ. 吉田松陰 ウ. 島津久光 エ. 阿部正弘
オ. 徳川斉昭 カ. 高杉晋作

問5 下線部③の尊王攘夷の支柱であった復古神道を大成した国学者とは誰か、下のア～エの語群から一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 平田篤胤 イ. 前野良沢 ウ. 稲村三伯 エ. 青木昆陽

問6 下線部④の長州藩勢力が薩摩藩や会津藩と御所で起こした争いの名称を答えなさい。

問7 下線部⑤の小御所会議で、新たに設けられた三職の名称は何か、下のア～オの語群から一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 議定 イ. 右大臣 ウ. 総裁 エ. 参与 オ. 将軍職

Ⅳ 次の文を読んで、下の問に答えなさい。

第1次世界大戦後、世界中で世界平和と軍縮の動きが高まった。そのような中、世界の覇者となったアメリカの呼びかけによって、1921年から翌年にかけて（A）が開催され、海軍の軍備の制限と、太平洋地域の勢力維持が確認された。

1912年頃から、議会中心の政治を求める（B）が起こった。そのような中、吉野作造の（C）や美濃部達吉の天皇機関説を背景に（D）や政党内閣が実現し、政治改革を求める動きがひろがった。吉野作造は「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」（『中央公論』1916年1月号）において、「我々が視て以て憲政の根柢と為すところのものは、政治上一般民衆を重んじ、其間に貴賤上下の別を立てず、而かも国体の君主制たると共和制たるとを問はず、普く通用する所の主義たるが故に、（C）といふ比較的新しい用語が一番適当であるかと思ふ」と述べ、あえて主権の所在を問わなかったものの、「天皇は国家人民のために統治する」と説いた天皇機関説とならんで、（C）は大正デモクラシーの理論的支柱となった。

①1918年に富山県で発生した民衆運動が全国にひろがり、（1）内閣は総辞職に追い込まれた。②後継首相には立憲政友会の（2）が就任したが、（D）を求める民衆の運動に対して、「階級制度打破と云ふが如き、現在の社会組織に向て打撃を試んとする趣旨より納税資格を撤廃すと云ふが如きは実に危険極まる次第」（『（2）日記』1920年2月20日）と警戒感を示し、選挙権の資格を直接国税（a）円以上の納税者に改めたほか、小選挙区制の導入による選挙法の改正にとどまった。その後、（D）実現、憲政擁護、貴族院改革などの要求を掲げた第2次護憲運動をうけて、憲政会、政友会、革新倶楽部による護憲三派を基盤に、1925年には（3）内閣が成立した。さらに、その翌年には（D）を実現させたが、「国体ヲ変革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情を知リテ之ニ加入シタル者ハ（b）年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス」とした③法律を同時に成立させた。

女性の地位向上をめざす運動も拡大した。1920年、（4）や市川房枝らは、新婦人協会を結成し、女性の政治活動への参加や選挙権の獲得をめざした。

また、差別を受けていた部落の人々も、差別からの解放と人間としての平等などを訴えて、1922年に京都で（E）を結成した。

問1 本文中の空欄（ A ）～（ E ）に最も当てはまる語を、下のア～オの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 全国水平社 イ. 護憲運動 ウ. 普通選挙 エ. 民本主義
オ. ワシントン会議

問2 本文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）に最も当てはまる人物を、下のア～オの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 犬養毅 イ. 加藤高明 ウ. 平塚らいてう エ. 原敬 オ. 寺内正毅

問3 本文中の空欄（ a ）～（ b ）に最も適する数字を、下のア～オの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 1 イ. 3 ウ. 7 エ. 10 オ. 15

問4 下線部①について、1918年に起こった民衆運動を何というか、漢字3文字で答えなさい。

問5 下線部②に関連して、1898年に成立した日本初の政党内閣において総理大臣となった人物（姓名）は誰か答えなさい。

問6 下線部③について、この法律名を答えなさい。